

「三浦保」愛基金県直営事業(令和6年度当初予算)

県直営事業

【環境保全・自然保護分野】

(単位:千円)

◎ 環境啓発プロスポーツ連携事業費 (県民環境部 環境・ゼロカーボン推進課) 5,146

無関心・関心期にある県民をターゲットとし、強力な情報発信媒体である県内プロスポーツチームと連携してホームゲームで環境保全活動に取り組むとともに、試合会場での啓発活動を実施する。

1 プロスポーツと連携した環境啓発事業

- (1) 実施方法 プロスポーツチームに委託
(愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングスを想定)
- (2) 実施時期 10月におけるホームゲーム等(想定)
- (3) 取組例 試合会場で提供する飲料容器等に循環型食器を使用し、ゴミの減量化・堆肥化
チームグッズなどのプラスチック製品の回収・再資源化 等

◎ えひめのブルーカーボン里海づくりモデル事業費 (県民環境部 自然保護課) 6,329

広大な干潟を有する「河原津海岸」(西条市)、「重信川河口」(松山市・松前町)及び「岩松川河口」(宇和島市)をモデル地域として、生き物等調査を実施することで現在の生物多様性を把握するとともに、里海づくりを推進する体制を構築、運営するほか、ブルーカーボン生態系を活用したエコツアーを実施し、多くの人が干潟に関心を持ち、保全が図られる機運を醸成する。

1 里海づくりモデル事業

- (1) 生き物等調査 生物多様性からみた干潟の機能・特徴等を調査分析
一般県民でも生物多様性の再生度を確認等できる簡易モニタリングマニュアルの作成
- (2) モデル地域としての里海づくり推進体制の構築
調査の結果を受け、保全に取り組む地域の多様な主体による協働体制を検討・構築、運営(行政、ボランティア団体、NPO、行業関係者、民間企業等)

2 普及啓発事業

- (1) 実施予定箇所 河原津海岸(西条市)
- (2) 実施内容 干潟の生き物観察会、エコツアーの実施

【社会福祉分野】

◎ 障がい者スポーツ魅力向上推進事業費(観光スポーツ文化部 地域スポーツ課) 5,000

パラリンピック直後に松山市大街道において、トップパラアスリートが集結するイベントを県主催で開催し、障がい者スポーツの魅力を県内外に広くPRする。

1 障がい者スポーツ魅力体感イベント開催事業

- (1) 日時 令和6年9月中旬(土・日曜日)
- (2) 場所 大街道(松山市)
- (3) 参加者・人数 パラアスリート50人、体験者・観覧者1000人
- (4) 実施競技 車いすレース(車いす) 義足ラン・伴走ラン(義足、視覚)
走り幅跳び(義足) 走り高跳び(義足)
400mリレー(車いす、義足、視覚、聴覚の混合)
光るフライングディスク体験コーナー(健常者)
ポッチャ体験コーナー(健常者) 車いすレース体験コーナー(健常者)
車いすバスケ フリースロー・3on3(選手vs 健常者)
車いすテニス 打球スピード対決(選手vs 健常者)
- (5) 主催 県
- (6) 委託先 民間事業者

◎ eスポーツ普及促進事業費(観光スポーツ文化部 地域スポーツ課) 7, 243

eスポーツ活動の企画運営等を東・中・南予の拠点施設に委託し、地域内での自立化を一層促進するなど、障がい者へのeスポーツの更なる普及拡大を図る。

- 1 障がい者eスポーツ交流促進事業
 - (1)eスポーツ交流イベント促進事業
 - (2)eスポーツ機器導入支援事業
 - (3)モデル施設貸与用機器導入事業
 - (4)施設主導型eスポーツ活動企画運営事業
- 2 施設・大学生連携イベント開催事業
- 3 eスポーツテクニカルアドバイザー設置事業
- 4 重度障がい者向けコントローラー開発・普及事業
- 5 「えひめeスポーツフェスティバル」開催事業
- 6 eスポーツ魅力情報発信事業

◎ 障害者就労施設等商品紹介サイト開設事業費(保健福祉部 障がい福祉課) 3, 354

障害者就労施設等の商品や提供可能役務を紹介するサイト(スマホ対応版)を制作し、一般県民の興味関心を持ちやすいコンテンツを掲載、積極的にPRすることで誘客を促進し、売上向上につなげる。

- 1 障害者就労施設等商品紹介スマホ対応サイト開設
新たに障害者就労施設等商品紹介スマホ対応サイトを開設し、最新の情報を掲載する。
- 2 県民等への周知

◎ 愛顔のあいサポートキッズ養成事業費(保健福祉部 障がい福祉課) 5, 710

子ども向けの分かりやすい研修資材を作成し、その教材を用いたあいサポーター研修を積極的に実施するほか、ターゲットを拡大した継続的な研修実施により、地域で活躍するあいサポーターやあいサポート認定団体を増加させ、障がいのある方に対する理解と支援の輪の拡大を図る。

- 1 愛顔のあいサポートキッズ養成研修資材を作成し、その教材を用いて研修を実施
 - (1)子ども向けあいサポーターハンドブック等
障がいの特性や障がい者に関するマークの説明、イラストを見てコミュニケーションや手助けの方法を学ぶ。
 - (2)あいサポートストラップ
県産材を使用し、子どもが着用しやすいあいサポートストラップを作成し、研修修了後、あいサポーターの証として配付。
- 2 県民への周知

◎ いじめSTOPつながる力育成事業費(教育委員会 人権教育課) 17, 128

児童生徒の心の育ちと教職員の学級づくりを支援することで、子ども達をいじめの被害者にも加害者にもさせない取組みの推進や不登校支援につなげる。

- 1 ジブンミカタプログラムの開発
 - (1)対象 公立及び県立の児童生徒(小5～中3 約55,000人)及び教職員
 - (2)概要 1人1台端末を通じて、学校生活や人との関わり等に関する問いに回答すると、専門家の知見に基づいて作成されたコメントが即座にフィードバックされる。児童生徒が提示されたアクションを実践することで、人によりよい関係を築く力の育成が期待される。

◎ 自転車事故防止シミュレーター整備事業費(警察本部 交通企画課) 3, 360

自転車の交通事故防止に資する効果的な安全教育を実施するため、老朽化に伴い故障が頻発する自転車シミュレーターの更新を行う。

- 1 自転車シミュレーターの更新(3台)